

新空手代表・久保坂左近 略歴



京都・西陣にて生まれ小学生の頃から格闘技を始め、伝統空手・フルコンタクト空手・キックボクシング・ボクシングなど幅広く経験。アマチュアの頃はフリーの立場で様々な大会に出場し、数多くの優勝や入賞などの実績を残す。

KSS 健生館の指導に尽力しながらも新空手道代表として、東京・大阪・名古屋・福岡・京都にて定期的に大会を開催。又、競技レフリーとしても「K-1」「Krush」「K-1 甲子園」などを裁く。

1999 年	KSS 健生館を京都で発足。 西日本選手では初となる「全日本新空手 K-2 中量級王者」となる。
2000 年	京都の選手として初めて「K-1 MAX」に出場。 プロのキックボクシングの試合にも参戦。
2001 年	「新空手道交流大会(京都大会)」を初開催。
2002 年	「K-1 MAX」に出場。 イタリアで開催された「WPKC 世界ムエタイ・スーパー・ミドル級タイトルマッチ」でタイトル奪取。
2006 年	「新空手道交流大会(大阪大会)」を初開催。
2007 年	「新空手道交流大会(福岡大会)」を初開催。
2008 年	「新空手道交流大会(名古屋大会)」を初開催。 「K-4GAORA CUP」を初開催。 「K-1 甲子園」競技運営に協力。 「K-1 公認レフリー」として活動開始。
2011 年 1 月	「NPO 法人全日本新空手道連盟代表」に就任。 KSS 健生館・東京本部を開設。